

学校のこれから通信（藤山台中学校区） No.5

（発行） 令和8年10月23日（金）
春日井市教育委員会事務局 学校教育課
新たな学校づくり推進室
TEL：0568-85-6149
Mail：n-gakko@city.kasugai.lg.jp

学校のこれから通信（藤山台中学校区）では、藤山台中学校区における学校統合に関するお知らせや現在の取組状況などについてお伝えします。

これまでの通信はこちら

高蔵寺ニュータウン地区における学校統合に向けた基本方針（中間案）に対する市民意見公募（パブリックコメント）の結果

1 市民意見公募の結果

23人の方から44件の意見をいただきました。

2 ご意見について

「高蔵寺ニュータウン地区における学校統合に向けた基本方針（中間案）」に対して、具体的な提案を含め、様々なご意見をいただきました。寄せられたご意見の中でも、特に「統合の進め方」については、中学校区内での学校統合や段階的な学校統合が望ましいなど広範囲な学校統合に慎重なご意見もいただきました。

こうしたご意見を踏まえ、基本方針の内容をより明確にするため、次のとおり修正します。

意見の分類	件数
統合の進め方	11 件
通学	4件
学校跡地	4件
まちづくり	3件
基本方針の構成	3件
学校区の再編	3件
地域のつながり	3件
意見交換	2件

意見の分類	件数
小中一貫教育	2件
学校づくりを考える懇談会	2件
きめ細かな教育	2件
魅力ある学校づくり	1件
学校施設	1件
アンケート	1件
情報発信	1件
その他	1件

「Ⅴ 基本方針」の一部修正（中間案45ページの方針1）

「高蔵寺ニュータウン地区を2つの地区に分け、それぞれの地区で最適な学校統合のあり方を検討します。」を、「高蔵寺ニュータウン地区を2つの地区に分け、それぞれの地区で、統合する学校の数や組み合わせなど、最適な学校統合のあり方を検討します。」にあらためます。

「Ⅵ 今後の進め方」への追加（中間案49ページ）

「「藤山台・岩成台中学校区」と「高森台・石尾台中学校区」の2つの地区での検討にあたり、「学校づくりを考える懇談会」については、必要に応じて中学校区単位で開催します。」の文言を加えます。

その他にいただいたご意見も踏まえ、引き続き、保護者や地域の方々と丁寧に対話と議論を積み重ねながら、高蔵寺ニュータウン地区の学校統合に向けた検討を進めていきます。

市民意見公募の結果については、次のとおり公表しています。また、いただいたご意見の中で、件数の多かった4種類の意見について、要旨とそれに対する市の考え方を裏面でご紹介します。

1 公表期間

令和8年10月14日（水）から11月13日（金）まで

2 公表場所

市ホームページ、学校教育課新たな学校づくり推進室（市役所9階）、情報コーナー（市役所2階）、坂下出張所、各ふれあいセンター（味美、高蔵寺、南部、西部）、各公民館（中央、知多、鷹来、坂下）、東部市民センター、保健センター、総合保健医療センター（3階こども家庭支援課）、グルッポふじとう

※ 市民意見公募の詳細は、右の QR コードからご覧いただけます。

1 統合の進め方について



【主な意見①】

統合案に賛成。子どもたちにとって多くの同学年との交流は将来に活かされると思う。

【市の考え】

学校生活では、児童生徒が多くの友達と関わり、多様な考え方を学びながら、社会性を育んでいくことが大切であると考えています。学校統合に向けた検討にあたっては、様々な観点からの検討が必要ですが、何よりも、子どもたちにとってより良い教育環境を実現することに重点を置いて進めていきます。

【主な意見②】

石尾台中学校区の3つの小学校を統合することに異論はないが、高森台中学校区と一緒になるとあまりにも校区の範囲が広がりすぎると思う。

【市の考え】

高森台中学校区は中学校区内の統合で適正規模の課題の解決ができますが、石尾台中学校区は単独では課題の解決ができません。また、今後も子どもの数は減少していくと考えられることから、高森台中学校区と石尾台中学校区を1つの地区と捉え、統合する学校の数や組み合わせなど、最適な学校統合のあり方を検討する必要があると考えています。

【主な意見③】

高森台中学校区と石尾台中学校区について、まずは各中学校区の小学校3校を1校に統合する。その後、建物の寿命も勘案すべき時期に、両中学校区の小学校と中学校を統合するといった、2ステップ型の段階的な再編を進めるとよいと思う。

【市の考え】

学校統合の検討については、今後、保護者や地域の代表の方、学校関係者などで構成する懇談会において、統合の必要性を含め、学校の設置場所や小中一貫教育制度など、より具体的な内容について意見交換を行っていきます。

2 通学について

【主な意見】

登下校のスクールバスの運用は必須であると思う。導入するならば、全学年利用できるようにしてほしい。

【市の考え】

学校を統合することとした場合の通学については、子どもたちの登下校の安全性や通学時間などを考慮し、安全な通学路の設定のほか、通学用のバスの運行について検討していきます。



3 学校跡地について

【主な意見】

空き校舎の運用については地元の意見も取り入れ、有効に存続されることを望む。

【市の考え】

学校の跡地については、地域の実情や他の公共施設の状況などを勘案し、公共としての利用の要否を含め、有益な利活用を検討します。

4 まちづくりについて

【主な意見】

学校の統合・閉校を積極的に検討するのは最終手段にするべきだと思う。まずは、高蔵寺ニュータウン地区の老朽化した施設の再開発を優先的に進めていき、新たな世帯の誘致を実施していくべきだと思う。それでも人口減少が加速する場合に限り閉校を考えていく。

【市の考え】

児童生徒数の推計から、高蔵寺ニュータウン地区での子どもの数の減少は急速に進んでおり、子どもたちにとってより良い教育環境を整備することは、先送りできない喫緊の課題であると考えています。

一方で、高蔵寺ニュータウン地区のまちづくりについては、本市、独立行政法人都市再生機構（UR都市機構）、高蔵寺ニュータウンセンター開発株式会社の3者で連携協定を締結し、これまでの取組を発展させながら持続可能なまちづくりの実現に取り組んでいるところです。これらのニュータウン地区の施策と子どもたちにとってより良い教育環境の実現に向けた施策を並行して進めていくことが重要であると考えています。

児童生徒数推計や、これまでに実施したアンケート結果及び意見交換会の会議録などを市ホームページ（右に記載のQRコード）に掲載しています。

